

旭ヶ丘児童センター 事業評価表
※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					実施 回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3年 度	R4年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳児 ・エンジェルクラブ ・星エンジェルクラブ	月2回	10	13	14	14	110	0	0	103	213	20	135	0	0	150	285	手形足形などの記念品作りや講師を招いたベビーマッサージなど、例年のアンケートにおける人気の高い内容を取り入れた。
		② 乳幼児クラブ 1歳児 ・ひよこクラブ	月2回	10			10	68	0	0	68	136	14	107	0	0	105	212	・季節遊び、製作活動、運動遊び、リズム遊びを通して、親子のふれあいを深める活動を行った。寒天や氷を利用した感触あそびや月齢に合わせて行ったサーキット、多治見市保健センター推奨子重トレーニングを取り入れたリズムダンスは、大変好評であった。
		③ 乳幼児クラブ 2歳児 ・キンダークラブ ・ちびっこクラブ	月2回ずつ	10			17	95	0	0	61	156	28	162	0	0	127	289	・キンダークラブでは、体力作りを中心とした運動遊びの他、春には、近くの公園へ散歩に出掛け親子遊びを楽しみ、秋には、保育園訪問をし、園庭の遊具で遊んだ。運動会やサーキット遊びなど体力増進に繋がる遊びへと展開した。 ・ちびっこクラブでは、季節遊び、ごっこ遊び、芸術遊びなど五感の刺激を感じる事ができる内容を取り入れた。絵具やスタンプを使った床一面を彩るお絵描きや、モザイクタイルを使った作品作り、ディズニーお買いものごっこ遊びは好評であった。
	小 計					41	273	0	0	232	505	62	404	0	0	382	786		
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・幼児おはなしの会 ・幼児トランポリン ・親子でダンス ・園児トランポリン ・バランスボールでスタイルアップ ・季節行事 (母、父の日プレゼント作り、水遊び、お月見会、ハロウィンパーティ、クリスマス会、節分会等)	月3, 4回 程度		14	14	59	397	11	0	361	769	63	419	4	4	380	807	・申込み制とした活動を継続し、申込み人数が少ない場合は、当日参加も可能と随時対応した。 ・幼児おはなしの会では、わらべ歌や手あそびうたを取り入れ、絵本の時間を楽しんだ。 ・平成27年度から継続している講師を招いたバランスボールは、職員による託児があることで安心して運動できると口コミが広がり、子育て中の父親の参加や就労保護者も月に一度の楽しみに毎月参加するなど非常に人気となった。
小 計					59	397	11	0	361	769	63	419	4	4	380	807			

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					実施 回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3年 度	R4年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を 対象とした事業	1	① 小学生クラブ1 ・一輪車クラブ	月2回程度	6	14	14	13	0	130	0	0	130	20	13	171	4	41	229	・検定カードを使った個人技の練習や曲に合わせたグループ演技の練習を行った。 ・上級生は、下級生への指導や補助も行い、参加者同士のコミュニケーションができ集団での協調性や自己啓発の向上に繋がった。
		② 小学生クラブ2 ・子どもスタッフクラブ	月2回				12	0	70	0	0	70	19	0	138	0	0	138	・医療従事者への絵葉書デザインコンテスト参加、近隣の保育園、幼稚園へ手作り雑巾プレゼントなど、コロナ禍でもできる範囲で、ボランティア活動を行った。 ・お祭りでは、子どもスタッフが主体となり、企画、準備、実施活動全てを実行し参加者から高評価を頂いたことで、自己肯定感を養えた。
		③ 小学生クラブ ・わくわくキッズ	月1回				8	0	54	0	0	54	10	0	122	1	2	125	・わくわくキッズでは、創造性を育む万華鏡作りや、ダウジング実験体験など理科的な要素を組み入れた活動や、なぞ解き宝さがしなど知的好奇心を伸ばす内容になる様取り組んだ。
		④ ボランティア活動 ・壁面飾り ・清掃活動 ・ぞうきん作り ・本、絵本整理	月2、3回	随時			3	0	16	0	0	16	11	0	59	0	2	61	・児童センターでの日常生活の中で気が付いたことは積極的に声をあげる事ができる雰囲気作りと、ボランティア活動への声掛けを継続して行っている。結果として、自発的にアルコールで遊具を消毒したり、テーブルを拭いたりと、ボランティア活動に対しての意欲の向上があった。 ・小学生ボランティアとしては、ぞうきん作りや図書室の本の整理など積極的にできた。
	小 計						36	0	270	0	0	270	60	13	490	5	45	553	
	2	⑤ 児童自主事業 ・チャレンジ番付(毎月) ・食育事業(苗植え、収穫) ・バトミントン大会 ・プレゼント作り ・わくわくシアター ・小学生トランポリン(新規) ・季節行事(夏の工作、科学工作、夏休み科学実験(新)、ハロウィンパーティ、クリスマス会、節分豆まき会)	月5回程度		13	13	28	29	213	6	39	287	31	41	289	20	27	377	・チャレンジ番付は、体力維持、向上事業として継続して行っている。全学年で競い合う事はなかなか経験できないが、楽しみながら、時には真剣に競技し、好成績を喜び合うなど体力向上だけでなく、社会性や協調性を育むことができた。 ・季節行事では様々な行事を行ったが、夏休み企画として新規で行った科学実験は、子ども達の好奇心を育むのに効果的であった。 ・小学生トランポリンは、年間計画に取り入れていなかったが、約束を守って安全に跳ぶ約束ができると子ども達からのリクエストがあり取り入れた。来年度は、検定カードを取り入れ挑戦したいと意欲的な意見が上がった。
小 計						28	29	213	6	39	287	31	41	289	20	27	377		

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					実施 回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3年 度	R4年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間 交流事業	1	① 児童館まつり ・旭ヶ丘児童センター 秋まつり ・旭ヶ丘児童センター 子どもスタッフ春まつり (新規)	年2回	1	13	13	1	24	39	3	20	86	2	46	89	5	51	191	・秋まつりは、コロナ感染対策の為、1時間おきの入れ替え体制で行った。中学生や地域ボランティアにより久しぶりのお祭りを楽しむことができた。 ・春まつりを、子どもスタッフ春まつりとし、子どもスタッフ主催の祭りを行った。誰でも楽しめるように、企画、準備、進行まで子ども達が考えながら活動し、多くの参加者も楽しめた。又活躍の場が出来たことで、達成感が養われた。
		② 移動児童館 ・ふれあい北栄『がきんちょ』 ・北栄サマースクール(中止) ・35区どんど焼き	7月 8月 1月	地域事情に 応じて			1	0	41	0	3	44	2	25	34	5	48	112	・ふれあい北栄が主催する地域事業『がきんちょ』へ活動をサポートする形で協力した。 ・北栄サマースクールは、北栄地域主催の夏休みイベントだが、コロナウイルス感染拡大の影響で、主催者判断で中止となった。 ・35区どんど焼き行事の協力依頼を受け、手作り凧作りを行った。地域多世代交流を楽しむことができた。
	小 計					2	24	80	3	23	130	4	71	123	10	99	303		
	2	③ 地域多世代間交流事業 ・地区社協との共催事業 「お花見会」 「出張児童館」 ・食育事業 ・壁面飾り ・謎解きに挑戦 ・簡単工作(季節工作) ・ファミリー事業 「ミニ縁日」(新規) 「大型カルタ大会」 ・避難訓練	月2、3回程 度		14	14	24	106	192	25	96	419	33	161	340	13	131	645	・令和4年度も引き続き感染対策を行い、できる形を模索し、地域多世代交流事業を行った。 ・謎解きに挑戦やミニ縁日など、多世代交流が楽しめる活動ができた。謎解きに挑戦は、初心者コース、中級コース、上級コースと年齢に合わせた問題を準備し、保護者も高度な問題に挑戦し、子ども達と切磋琢磨し楽しんでいた。 ・新規企画のミニ縁日は、夏祭りに参加した感覚を楽しめたと好評であった。 ・食育事業は、じゃがいも、さつまいもの栽培や、収穫を楽しんだ。コロナ禍前の様に、収穫後のクッキングまでできると更に参加者が増加し食育らしい活動になり参加者の満足度向上にも繋がる為今後楽しみである。
	小 計					24	106	192	25	96	419	33	161	340	13	131	645		

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					実施 回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3年 度	R4年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・中学生ボランティア 日常の清掃 雑巾製作 季節行事の補助 児童センターまつり補助 ・中学生大掃除隊	月1回 程度	3	14	13	6	0	0	41	0	41	11	0	0	55	0	55	・自己表現が苦手であったり、自己肯定感を自ら 下げてしまう傾向がある中学生の活躍の場所や 機会を提供し児童センター内でのボランティア活 動を通し社会の一員であるという自覚と役割意 識を培った。 ・例年、中学校に活動人員募集を協力していた が、今年度は、友達同士のコミュニ ティの中で、自発的にボランティアグループを作 り、役割を担って積極的に活動することができて いた。 ・中学生の活動の姿を見て、小学生がボランティ ア活動に興味を抱き、小学生ボランティア活動を 行う子どもスタッフ参加者が増加傾向にある。 ・中学生大掃除は、年末の児童センターの恒例 事業となっている。クラブや、勉強で毎日忙しく、 児童センターに遊びに来れない中学生も、ボラン ティア活動に力を注いだ。
	小 計						6	0	0	41	0	41	11	0	0	55	0	55	
	2	② 中高生 自主事業 ・バトミントン大会	夏休み		14	12	3	0	0	18	0	18	1	0	0	2	0	2	・バドミントン部の生徒の意見をもとに、中学生バ ドミントン大会を開催した。中学生の参加者が少 なかったが、腕に自信のある小学生が対戦し、 盛り上がる大会となった。
	小 計						3	0	0	18	0	18	1	0	0	2	0	2	

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					実施 回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3年 度	R4年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業	月1回	12	13	14	4	2	0	0	1	3	12	5	0	0	4	9	・子育て相談日の予約相談は、なかなか申し込みにくいとの意見があったが、相談日以外にもいつでも子育てにおける相談を受け付けた。 ・年間を通して子育ての不安、親同士の関わり方、発達に関する相談が多くあった。子育て中の子どもへの対応について、保健センターや子育てコーディネーターと連携し対応した。
		② 講習 講演 他連携 ・青少年まちづくり市民会議共催 「大原川ガサガサ探検隊」 ・障がい者福祉センター連携 「福祉体験」(新規)	年6回	2			1	1	12	2	9	24	3	11	33	0	20	64	・まちづくり市民会議、土岐川観察館に協力してもらいガサガサ探検を行った。児童センターの職員だけでは行にくい活動も、関連機関と連携することでより安全で充実した活動になっており、好評である。 ・障害者福祉センターに協力をしてもらい、車いす福祉体験を行った。車いすの操作方法だけでなく、リフト車の乗降体験もでき、参加者には良い経験となった。また、福祉に対しての学びの場として、今後も年1回春休み期間に実施予定である。
		③ 母親クラブ ・お昼寝アート ・ダンス ・AED研修、消防署見学 ・児童センター合同スポーツ大会 ・バランスボール ・アクセサリー作り ・キャンドル作り ・牛乳パック椅子作り ・カラー診断・おたのしみ会	毎月1回	随時			10	67	17	0	88	172	12	88	14	0	143	245	・母親クラブ『エンジョイマミー』が主体となり、毎月1回程度活動を行った。 ・クラブ会員の特技や資格を活かし、講師担当、託児担当等役割分担をして、和気あいあいと楽しめる多岐にわたる活動内容であった。 ・お楽しみ会は、児童センター職員によるクイズ形式の対戦ゲームを行ったが、非常に盛り上がりを見せた。 ・母親同士が交流できる良い活動になっている。
	小 計					15	70	29	2	98	199	27	104	47	0	167	318		
	2	④ 子育て自主事業 ・なないろひろば	5月から毎月1回 (夏休み除く)		14	14	7	20	0	0	13	33	10	31	0	0	31	62	・保健センターからの紹介や、子育て相談時等で、発達に不安がある保護者への声掛けによって少人数制のクラブを発達支援センターなかよしの職員の協力を受け実施した。 ・楽しい環境作りを心掛け、枠にとらわれないような遊びの展開をした。3歳児クラブの内容も少しずつ取り入れながら活動を行う事で、後期1月頃には、始まりと終わりの挨拶、朝の体操、職員の呼びかけにもこたえる事ができるようになり保護者と共に成長を喜び合う事ができた。
	小 計					7	20	0	0	13	33	10	31	0	0	31	62		

（留意事項） ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上